

カンタス航空 大阪(関西)ーシドニー間の季節運航開始を発表 ～日豪間の需要の高まりに応じて、12月14日から週3便が就航～

【大阪発】カンタス航空(本社:シドニー、CEO:アラン・ジョイス)は、本日、日本ーオーストラリア間の旅行需要の高まりにより、大阪(関西)ーシドニー間の直行便を季節運航すると発表しました。

カンタスは、2017年12月14日～2018年3月24日まで、週3便、エアバス A330 で2クラス制の運航となる予定です*。

本路線は、大阪ーシドニー間を直行便で結ぶ唯一の便となり、好評をいただいている東京(羽田)ーシドニー、東京(成田)ーブリスベン、東京(成田)ーメルボルン路線の3都市を結ぶ路線に加え、ジェットスターの大阪ーケアンズ間をも補完します。ジェットスターは東京(成田)からケアンズ、ゴールドコースト行きを運航しています。

カンタスの大阪ーシドニー路線は、豪国内線やニュージーランド路線、ジェットスタージャパンの日本の国内線などの幅広いネットワークにも接続でき、新路線の双方の都市にとって旅の選択肢を広げます。

カンタスの国際線部門 CEO である Gareth Evans は、「カンタスのネットワークに大阪が増えたことで、オーストラリアへの旅の玄関口を増やすことができました」と述べています。

「カンタスはこの12月で、日本就航70周年を迎えます。オーストラリアへの旅行需要が活況を呈するこの時期に、二国間の新路線を開始できることを心より嬉しく思います。」

「カンタスの日本市場へのコミットメントは、この著しい成長に対応し、日本ーオーストラリア間で最大のネットワークをはじめ、豪国内線のネットワーク、そして、ジェットスタージャパンによる日本国内のローコストのネットワークを拡充していくことです。」

「オーストラリアは、長期滞在やショッピングの場所として、日本からの旅行者に高い人気を誇っています。また、自由貿易協定の締結により、この新路線は企業が新しい地域でのビジネスを検討し参入する機会を広げるものであり、二国間の交易での関係をより強くするものです。」

「歴史的な見どころが多い関西と周辺地域を探訪するオーストラリアからの旅行者にとって、この直行便はとても魅力的です。この数年間に、日本では、2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックなど、大きなイベントが予定されており、二国間の旅行需要は一層高まると予測しています。」と Evans は述べました。

カンタスは就航記念セールを実施、大阪ーシドニーのエコノミー往復を58,000円から、ビジネス往復を220,000円から販売します*。



フライトスケジュール(2017年12月14日~2018年3月24日)*

便名	ルート	出発時刻 到着時刻	月	火	水	木	金	土	日
QF34	関西—シドニー	18:55/06:45+1	-	-	-	✓	-	✓	-
		22:50/10:40+1	✓	-	-	-	-	-	-
QF33	シドニー—関西	09:30/17:25	-	-	-	✓	-	✓	-
		13:25/21:20	✓	-	-	-	-	-	-

*政府・関係省庁の認可を条件とします。スケジュールは予告なく変更になる場合があります。月曜日のフライトはA330-200型機での運航になります。

^空港使用料、諸税、諸手数料は別途。

本リリースに関するメディアお問い合わせ先
 株式会社 プラップジャパン カンタス航空 広報担当: 堀越・山田
 TEL: 03-4580-9106 E-mail: qantas_japan_pr@ml.prap.co.jp

本プレスリリースは株式会社プラップジャパンが代行して配信を行っています。

